

松陰

Show-in

28

Contents

【巻頭言】

理想とする大学図書館

小林 成光

- 図書館で初めての「上映会」を開催
- 第10回選書ツアーを実施
- 新入生オリエンテーションで先輩学生が壇上から説明
- ミニ企画展示「仕事選びに役立つ本、あります！」
- LIBRARY GUIDANCE 3を開催しました
- ライブラリサポーター2年目
- 新着！おすすめ！図書
- お知らせ

理想とする大学図書館

図書館資料専門部会副部長 小林 成光

図書館はインターネットの普及および電子書籍の登場によって大きく変わり、図書館の存在価値が問われている。日本の公立図書館は変革を遂げ、貸出サービス偏重主義から、文化発進拠点、情報発信拠点という新たな役割を重視したユニークな試みが行われている。例えば、「TSUTAYA（ツタヤ）」を展開するカルチュア・コンビニエンス・クラブ（CCC）に委託する、佐賀県の武雄市立図書館が有名である。しかし、大学図書館はこのような変化に十分に対応できないでいる。そこで、私が理想とする大学図書館について述べてみたい。

大学図書館の役割は、図書館職員による教育支援、学習支援のためのラーニング・コモنزの整備およびレファレンスなどが最も重要であると言われる。

国土館大学図書館・情報メディアセンター（以下、センターとする）では、教育支援のために専任教員および図書館員が新刊書を中心に選書してきた。学生による選書を推進するために、学生がバイヤーとなり、大手の本屋に出向いて選書する選書ツアーをも実施してきた。ゼミ等で図書館および検索方法などを説明したり、今年度から専任教員が授業およびゼミなどで利用する教科書、参考書を展示する「指定図書コーナー」を設置したりして、教育支援を行っている。

ところで、現在、少子化、そして受験者数の減少という状況に対応した教育改革をし、学習支援センターをも設置している大学が存在する。同時に大学図書館は、教育改革に伴って教育支援から学習支援することが求められている。

センターには、学生の自主的な学習を支援する先端的な取組みとして、“kiss”と呼ばれる学術情報リポジトリが存在する。現在、学習支援として注目されているのが、ラーニング・コモنزであるが、これはセンターにもある「学生が自主学習するための共有スペース」である。上智大学図書館のように、グループ学習、プレゼンテーション準備、論文・レポート作成等に利用される「ラーニング・コモنز」という名のスペースを一カ所に集中させる図書館が存在する。そこでは、PC無料貸出し、セミナーの開催、さらに平日および休日の開館が注目される。

図書館でなくて、学部でラーニング・コモنزを配置する取組みがある。私が以前に勤務していた高知大学では、オアシスという名で呼ばれる自立学習支援センターを人文学部内に設置し、英語などの語学の教材を6,000点以上を揃え、語学を自習できる環境を整備している。そこでは、留学生との交換レッスンを実施し、日本人学生と留学生との語学力向上になることが期待される。

【巻頭言】理想とする大学図書館

次にレファレンスであるが、文献調査を援助するというのが主要なものである。センターでは、論文の書き方までサポートする大学院生によるライブラリーサポーターという制度が 2011 年度から開始されているが、学習上の疑問があれば相談できる学習相談まで拡大するべきであると思われる。大学院生だけではなく、専任教員がこの役割を担うように組織化することが考えられる。

ところで、アメニティを向上させるためにカフェ、書店そして文具店を併設している図書館が増加している。私が研究員をしていたイギリスのレスター大学図書館 (University of Leicester Library) でも、カフェと同時に書店もあった。図書館に配架できる同一の書籍の数を制限すれば書店との共存も可能であると思われる。とくにレスター大学図書館でユニークであるのは、3階にキャリアサービスが併設されていることである。現在、各大学が取り組んでいる就業力育成を図書館が担うことが考えられる。

将来的には、大学図書館の収蔵スペースは不足する事態が予想される。そのためには、センターで導入されている電子雑誌および電子書籍の利用で対応する必要がある。日本ではまだ電子書籍の普及が遅れている。レスター大学図書館では 30 万冊以上の電子書籍を閲覧できるようになっているのである。電子雑誌および電子書籍の普及が図書館の利用を減少させるという意見があるが、とくに電子書籍には必要なページを開くことが面倒で、複数ページを同時に参照できないという欠点があるので、共存が可能であると思われる。いずれにしても、大学生が大学に来たときに最初に必ず訪問するのが図書館であることが私の理想とするところである。そのためには、書籍の収蔵庫としての図書館から脱皮して、アメニティとしての図書館、学習支援としての図書館、そしてキャリアサービスとしての図書館を目指さなければならない。

最後になるが、東日本大震災を契機として、企業は災害が発生したときに損害を最小限に抑え、事業を早期に復旧するための手法である、BCP (Business Continuity Plan: 事業継続計画) を求められている。大学は事業体でないが、大学図書館も BCP を構築し、いかに災害に備え、迅速に再開できる体制を構築するかが最も問われている課題であると考ええる。

(こばやし しげみつ = 法学部)

図書館で初めての「上映会」を開催



図書館・情報メディアセンターでは「戦傷病者証言映像上映会」を7月11日（水）と12日（木）、中央図書館4階 AV ホールで開催しました。上映した映像資料は、「しょうけい館（戦傷病者史料館）」様から借用したもので、普段なかなか観ることができない貴重な資料です。

上映会当日は、学生・教職員・図書館公開利用者などが多数参加し、それぞれが何かを感じていたようです。今回、「一言メッセージ」コーナーを設けましたところ、沢山の方がメッセージを残してくれました。一部ではありますが、ご紹介させていただきます。

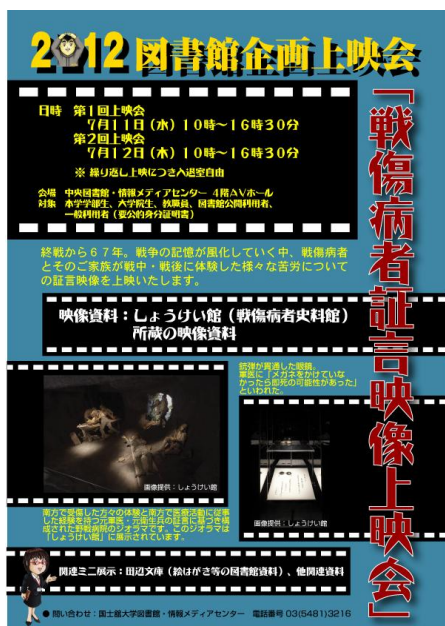
▼皆様からいただいた一言メッセージ

「小学校一年、二年生の時、若林駅で出征兵を見送った。しばらくして若林駅で出迎えたのは、白木の箱。戦傷病者の方々のご苦労にも胸が痛みます。」

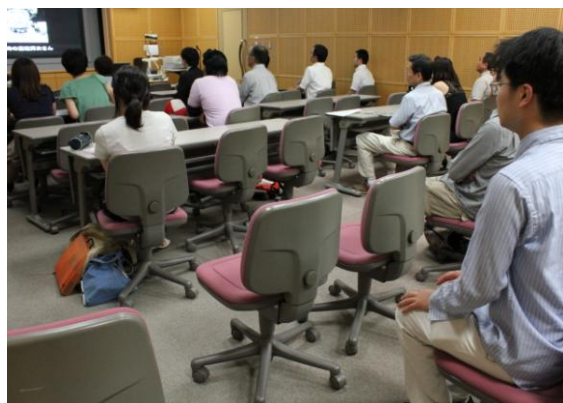
「戦争の当事者でない私は、戦争がいかに残酷で辛いものであるのかを真に理解することはできません。だからこそこの映像を観て何を感じ何を思うのかを考えたいと思います。今後の生活の中で、この映像を観たことによって何かが変わる気がしました。今の私たちの生活は戦争を戦いぬいてくれた方々のお陰であることを十分に理解していこうと思います。「戦争は罪」という重い言葉を深化していければとも思いました。」

「今回思いがけなく貴重な映像を観ることができました。時間の関係で全部は観ることはできませんでしたが機会を作り、「しょうけい館」に一度行ってみます。そこで観たことを孫の代まで語り継ぎたいと思います。ありがとうございました。」

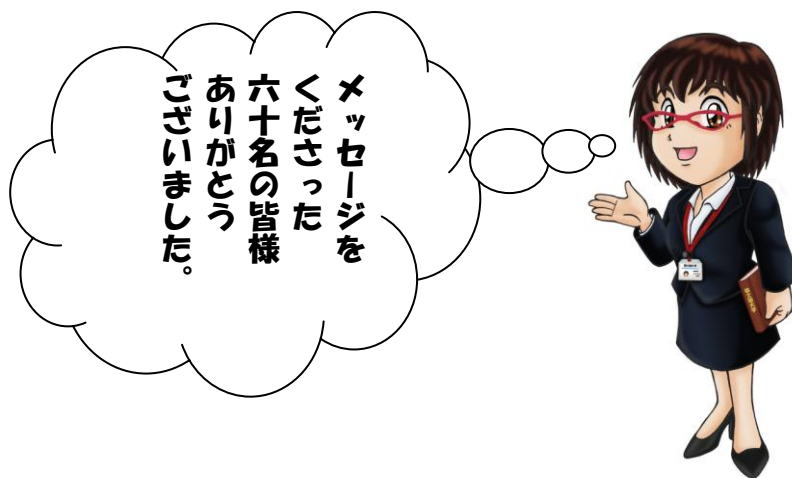
▼「上映会」開催のポスター



▼上映会の様子



▼展示資料の様子



（第1情報サービス課 古川清子）

第10回選書ツアーを実施

平成24年6月16日に図書館・情報メディアセンター恒例行事の選書ツアーを紀伊國屋書店新宿本店にて実施しました。今回も参加希望学生が多く、満員御礼となりました。選書ツアーを心待ちにしている学生もいたようです。

ツアー前日に事前説明会（学生座談会）を行いました。昼休みでの短い時間でしたが、参加者からは、ツアーへの意気込み、選書したい本、好きな作家やジャンルから図書館への要望などが意見交換されました。

ツアー当日は、あいにくの雨で、電車が遅延したりしましたが、参加者全員そろって選書することができました。学生バイヤーは、広い店内を楽しそうに又は真剣に巡り、実際に本を手にとって一生懸命選書していました。小説から専門書等、全員が選書内容に満足するまで選書できたようです。

☆学生バイヤー選書図書リスト(抜粋)☆

「基本日本語文法教本：新装版」西口光一著
「ハンガー・ゲーム」スーザン・コリンズ著
「基礎から学ぶ! ｽﾎｰﾂﾏｯｼｬｰｼﾞ」溝口秀雪編著
「アラブの春は終わらない」タール・ベソ=ジェル著
「人魚呪」神護かずみ著
「女子学生のためのキャリア・ガイド」渡辺峻編著
「ピンクとグレー」加藤シゲアキ著
「脳・神経」医療情報科学研究所編
「ナポレオン愛の書簡集」草場安子著
「博士の折り紙夢book」川崎敏和編著
「21世紀に儒教を問う」土田健次郎編
「ぼく、ドラえもんでした。」大山のぶ代著
「初版グリム童話集1～4」グリム著
「県庁おもてなし課」有川浩著
「進化：生命のたどる道」カール・ジンマー著
「あなたの中のリーダーへ」西水美恵子著



▼スキャナーで本のバーコードを読み込みます



▼学生座談会にて



★学生バイヤーによる選書図書は、中央図書館、鶴川図書館の新着図書コーナー等に展示しています。皆様のご利用をお待ちしています！

(第1情報サービス課 郡司博之)

新入生オリエンテーションで 先輩学生が壇上から説明

本学では、入学直後の各学部オリエンテーション時に新入生に対する導入教育の一環として、学長講話及び教学関連部署による説明が毎年行われています。図書館・情報メディアセンターでは「図書館ガイダンス」として図書館の概要などの説明をしていますが、平成23年度から図書館職員からだけではなく、上級生からも新入生に対して「図書館の有効な活用法」を案内する内容にプログラムを変更しました。新入生は、図書館員からの話を聴くだけでは、どうしても眠くなったり話に集中できなかったりと、期待以上の効果が見られなかったのですが、先輩学生が話を始めますと真剣に耳を傾け聴く体制を取るようになり、終了後の拍手も多くいただいております。

今回協力してくれた政経学部の寺崎潤一さんから、オリエンテーションの感想文が寄せられましたので、ご紹介いたします。

▼10号館旧剣道場でオリエンテーションを開催



▼大勢の新入生の前で壇上から説明する学生



司会の図書館員



「昨年、図書館で開催された青山有紀氏の「講演会」で学生サポーターとして協力をさせて頂いた縁で、図書館職員の方から、新入生へのオリエンテーションの一環である学長講話の後に「図書館のガイダンス」を行っているの、その際「大学の先輩として、図書館の活用方法を壇上から新入生に伝えて欲しい。」という打診があり、お引き受けしました。

平成24年4月3日と4月4日の二日間に渡り計4回、多くの新入生の前で話をすることで、前回の講演会とはまた違った緊張が身体を襲いました。そのため本番を迎えるまでに、図書館員の古川さん、学生代表の政経学部4年の西沢ひかりさんと私で、事前に原稿の打ち合わせや本番を意識しての練習などを繰り返し行いました。事前の打ち合わせなどは、とても和やかな雰囲気の中行われ、多くの意見が出されました。そしていよいよ、4月3日の初日を迎えることになり、直前まで西沢さんと繰り返し練習をしていまし

た。ところが前日より発生していた爆弾低気圧の影響により午後の回は中止となりました。あくる日の4日は、天候も回復し無事行われました。初めて大人数の前で話をしたこともあり、新入生に対して図書館の活用法がうまく伝えられたのか、不安が残る結果となりました。今回の経験は、前回の講演会とは違った発見や教訓を得られました。この経験は今後の就職活動、そして社会に出てから必ず役立つものと思います。貴重な機会を頂きありがとうございました。」

政経学部政治学科3年 寺崎潤一

▼右から西沢ひかりさんと寺崎潤一さん



政経学部4年の西沢ひかりさんと同3年の寺崎潤一さんには、数百人の聴衆を前に、壇上から話すという大変緊張する役割を担ってもらいましたが、二人とも達成感を得られたようで良かったと思います。

図書館・情報メディアセンターでは、学生が積極的に図書館の活動に参加できるよう、さまざまな企画を行っています。学生サポーターは随時募集していますので、参加してみたい方・話を聞いてみたい方はお気軽にご連絡ください。

(第1情報サービス課 古川清子)



ミニ企画展示

仕事選びに役立つ本、あります！

中央図書館・情報メディアセンター 1 階の新着図書コーナーで、「仕事選びに役立つ本、あります！」と題したミニ企画展示を行っています。

本展示は、大学図書館として学生の就職活動に役立つことはできないかという思いから、キャリア形成支援課の協力の下、図書館所蔵の就職活動に関連する資料を紹介する企画です。様々な業界の動向をわかりやすく解説された書籍、面接やインターンシップなどを詳しくとりあげた視聴覚資料を中心に展示しています。もちろん、図書は通常どおり借りることができますし、映像資料も 4 階 AV コーナーで視聴可能です。学生の皆さんのご利用をお待ちしております。

なお、企業情報や就職活動についてより詳しく知りたい時は、[キャリア形成支援センター](#)へ足をお運びください。

(第 1 情報サービス課 郡司博之)



1 F に設けた展示コーナー



業界案内本・資料映像がいろいろ！

LIBRARY GUIDANCE 3 を開催しました

平成 24 年 6 月 27 日・7 月 3 日に、中央図書館・情報メディアセンター（グループスタ
ディ室A）にて、「少人数向けガイダンス レポートの材料を探しに図書館へ行こう - こんな
に使える！ 国士舘大学中央図書館・情報メディアセンターの活用術 -」を実施しました。

このガイダンスは、少人数で気負わずに参加できるガイダンスとして参加者から好評で、
第 3 弾の開催となりました。

「授業でレポート課題が出された」という設定からスタートし、レポート作成の流れを
追いながら、実際に館内を巡りました。その中で、資料の探し方・入手方法やレポート内
容に合った情報検索方法を身につけられるプログラムになっています。

少人数ならではの和やかな雰囲気もあり、参加者と積極的な応答が交わされました。参
加者から「レポート作成に役立つ」、「新しく発見することがあった」などの声があり、我々
もうれしく思いました。

（第 1 情報サービス課 内田節子）

当日のプログラム （配布資料より抜粋）

- 1 課題が提示される
- 2 課題図書を手に入れる
- 3 問題文で問われていることを
明確化する
- 4 課題図書を読む
- 5 情報検索をする
情報検索ステップ 1
（新聞縮刷版・データベース）
情報検索ステップ 2
（雑誌記事検索「Magazine Plus」）
- 6 書いてみる
- 7 内容を磨く

★… レポートの書き方

オススメ本リスト …★

★… 本日のまとめ …★



ガイダンス風景

ライブラリサポーター2年目

今年度も大学院生によるライブラリサポーター制度を実施しています。

主にレポートを書くための資料の探し方をサポートしています。

また社会人となっても役立つような情報収集の方法や保存についてもアドバイスしています。



時にはレポートの書き方についても個人に合った適切なアドバイスをしています。

先輩としてあたたかい接遇を常に意識して利用者の皆様に接しています。

昨年よりパワーアップしたスタッフをそろえ、月曜日から金曜日まで週 5 日、図書館利用者が一番多い中央図書館・情報メディアセンター 1 階に常駐しています。

ライブラリサポーター

OPAC の使い方が分からない
本が見つからない
レポートってどうやって書くの？等
お気軽にご相談ください

曜日	専門分野	在席時間
月	政治学	14:00～19:00
火	法学	
水	経済・経営学	
木	理工学	
金	人文科学	10:00～19:00

ひとりひとりの質問や相談に親身になって
アドバイスするために、

月曜日：政治学分野

火曜日：法学分野

水曜日：経営学・経済学分野

木曜日：理工学分野

金曜日：人文科学分野

と専門分野の曜日を決めて常駐しています。

気軽に相談してみましょう！

(第1情報サービス課 木下幸子)

◆新着！おすすめ！図書◆

【図書館・情報メディアセンター 第1情報サービス課課長推薦】

● 「藤巻健史の実践・金融マーケット集中講義」

藤巻健史著 資料 ID : 12035656 所蔵館：中央図書館

 OPAC検索

● 「「超」入門 失敗の本質：日本軍と現代日本に共通する23の組織的ジレンマ」

鈴木博毅著 資料 ID : 00906156 所蔵館：中央図書館

 OPAC検索

● 「ウェブで学ぶ：オープンエデュケーションと知の革命」

梅田望夫、飯吉透著 資料 ID : 00902818 所蔵館：鶴川図書館

 OPAC検索

【新着おすすめ図書】

● 「本棚の中のニッポン：海外の日本図書館と日本研究」

江上敏哲著 資料 ID : 00907108 所蔵館：鶴川図書館

 OPAC検索

● 「「判断力」を強くする：正しく判断するための14の指針」

藤沢晃治著 資料 ID : 11017735 所蔵館：多摩図書館

 OPAC検索

● 「鎌倉の吉田松陰：随筆歴史あれこれ」

土谷精作著 資料 ID : 00907695 所蔵館：中央図書館

 OPAC検索

● 「理工系のための明日への教科書：時代を担うトップからのメッセージ」

豊橋技術科学大学 2012 編 資料 ID : 00907401 所蔵館：中央図書館

 OPAC検索

【就職活動関連図書】

● 「就活始めるブック：大学3年生短大1年生必読 2014年度版」

就職情報研究会編 資料 ID : 10044924 所蔵館：鶴川図書館

 OPAC検索

● 「こう動く！就職活動オールガイド '14年版」

成美堂出版編集部編 資料 ID : 11017790 所蔵館：多摩図書館

 OPAC検索

● 「就活を採用者視点で科学する」

村山涼一著 資料 ID : 12043072 所蔵館：中央図書館

 OPAC検索

● 「就活難民にならないための大学生活30のルール」

常見陽平著 資料 ID : 12043141 所蔵館：中央図書館

 OPAC検索

● 「「ワンピース」に学ぶ就職活動：3D2Yの覚悟」

平居謙著 資料 ID : 12043073 所蔵館：中央図書館

 OPAC検索

★他校舎図書館所蔵図書は、予約・取り寄せをすることで借りることができます！



お知らせ

★kiss コンテンツ UP 情報★

- ◆ 国土館大学哲学会紀要
『国土館哲学』第1号～第16号
- ◆ 国土館大学政経学会紀要
『政経論叢』第160号



↓ 本学紀要を検索するには下記 URL をご利用ください。

■ 検索画面 → <https://kiss.kokushikan.ac.jp/pages/SA.aspx>

■ 紀要データベース → <http://libw01.kokushikan.ac.jp/hp/Media000.html>

<ご参考>

- 図書館オリジナルの統合知識情報システム“i-lib kiss”で検索する方法
→ フリーワード欄に紀要名等を入力し検索ボタンをクリック
- 図書館ホームページ(TOP 画面下: ■kiss コンテンツ事例)から検索する方法
→ “学部等紀要”一覧から関連するものをクリック→ 目的の紀要をクリック



開館については国土館大学ホームページ(開館カレンダー)でご確認ください。

→ <http://www.kokushikan.ac.jp/research/library/index.html#anc04>

編集後記

この度、初めて「松陰」の編集を担当させていただきました。
特に「新着！おすすめ！図書」にOPACへのリンクを
張り付けてみました。いかがでしょうか。
是非クリックしてみてください。(K)

『松陰 Show-in』

平成 24 年 9 月 29 日発行 第 28 号

発行: 国土館大学図書館・情報メディアセンター

編集: 『松陰』編集委員会

〒154-8515 東京都世田谷区世田谷 4-28-1

TEL: 03-5481-3213 / Mail: libsyoin@kokushikan.ac.jp